

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **03-092966**

(43)Date of publication of application : **18.04.1991**

(51)Int.Cl. **G06F 15/30**

G06K 17/00

G07D 9/00

(21)Application number : **01-230893**

(71)Applicant : **FUJITSU SYST SOKEN:KK**

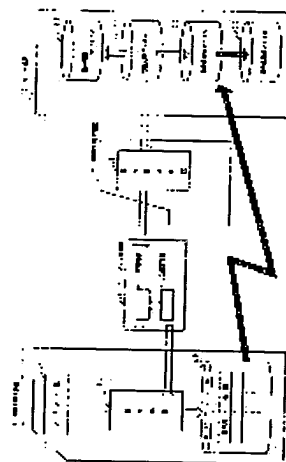
(22)Date of filing : **06.09.1989**

(72)Inventor : **HAYASHIDA SHOJI**

(54) ELECTRONIC PURSE SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To realize a completely cashless state by writing amount information into a cashless medium and executing a transaction by exchanging these amount information.
CONSTITUTION: The arbitrarily designated amount information are written into a storing means 11 of a cashless medium 1 in a range not to exceed the upper limit of the amount information stored in a deposit bankbook file 31 of a center device 3. Based on the amount information received from a commercial transaction terminal equipment 4 and the amount information stored in the storing means 11, an arithmetic means 12 of the cashless medium 1 executes an arithmetic processing and when the amount information required for the commercial transaction are stored in the storing means 11, it is informed of the commercial transaction terminal equipment 4. According to this information, the commercial transaction terminal equipment 4 transmits the information to the cashless medium 1 and these amount information are stored by demanding destinations in a sum-up file 42. These information are transmitted to the center device 3 and in the center device 3, the necessary amount information are subtracted from an unsettled fund file 32. Then, the same amount is paid into the account of a prescribed commercial transaction handling source in a commercial transaction handling source file 33. Thus, the completely cashless state can be realized.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(4)

審査請求 未請求 請求項の数 7 (全22頁)

⑦代理人 井桁 貞一 外2名

• 2000

その1、銀行POSカードを用いた取引において

22.

銀行口座から現金を払い出すことを目的とした、銀行発行の「チェックカード」で、個人顧客は小売店に提示する。小売店は、銀行の現金元帳「ブイカ」と直接交換できる「POS 端末機」により、代金を銀行に送付する。銀行は、直ちに顧客元帳から当該金額を引き当り小売店口座に入金処理を終える。その上、「ブイカ」システムを用いた取引におい

問答をなす、あらかじめ店にあるいは自給販売機により、現金と引換えにプリペイドカードを購入する。このプリペイドカードを商品の自動販売機に挿入し、必要な額付をすると、商品が排出され、商品代金に相当する金額がプリペイドカードより減算される。

(飛翔が解決しようとする課題)
従来の技術では、キヤラシエス効果の懸念から見ると、おのずから制限がある。

その1、クリケット。

の消費は、買物一件ごとによりネット会社に
情報提供を行なう。代金請求は請求書と
いう郵送品があるため、現金取引、高付加価値
商品の取引に限定される。④現金口座の代金引
きの場合での請求不届や、不良債権の発生が生ず
ることを防ぐため、一定の要を満たした個人購
入をしかかりの利用資格が与えられない。

① 買掛は点での惣持ち口取引を去りが原則であるため、銀行営業時間中の正金処理と夜間や銀行休業日の預金処理とが分かれ、小売店は事故対応が困難を、顧客には現金買付処理を要請される。② 買掛を一件ごとの口取引を去りを行うので、事務量が多くなり経費がかかる。

その3、アリエイカーフ。
①先払いの買物券のため、取り返し困難な商品を購入しない。一足の商品は使用しない。②先払い方式であるため、顧客は購入予定時点より早くに決立ってアリエイカーフを購入してしま

(右の通り)。「世に因縁はたへたる。」③「了
て又一々を因縁する所には、斯くも必らずあ
ら、我々のやうな天國には、天國にはな
る結果を得つゝあるもの、上は知てたであ
る物象たるために、万人がその因縁は別であ
る手段とはいつに」。

従つて、吾等所では、我々はヤツシス
化を目的とするのである。(四篇を解決するための手段)

が原則可能な設備を維持する設備投資不足
 機「フレイム」及び「スロ」上記自動車製造
 だより、上記「フレイム」設備に必要だ
 を設備投資の「フレイム」設備の投資を
 設備する設備投資「フレイム」を有する銀行や
 ソファ製造と、により増進し、及び、現在設備
 人力される「フレイム」設備と、上記「フレイム」
 保持「フレイム」の間に多少とも設備投資の成長を行う
 れた設備投資を計し得る「フレイム」から保
 れた設備投資を計し得る「フレイム」から保

と、を離れ、少なくとも上座をシテ設置し、
される買取引額を減額し、とにより構成される。

[illegible][illegible]

マッシュェス艦隊を指示する。このマッシュェス艦隊に対し、南東引揚共艦隊の攻撃手段は南東引の指示に必要ない金網作業を要する。マッシュェス艦隊1の南東手段は、南東引揚共

[illegible]

集計フランクはに可換された金融市場は、所定の金融機構からのセツクを通じて、セツク提供されてきた。金融市場に於いて、セツク提供を遂行した投資家は金融市場から必要資金を提供し、引き、両側面を同時に実行するフランクの所定で、両側面の口数にない込む。

本税明では、以上のようになお引を完了させることができないため完全なキャッシュ入代が図る

[illegible]

⑤ 自動吸引噴水装置 (新1) 図参照
 現在、各地の園地により流行セツター装置に代替
 される、自動吸引噴水装置2の構造は、燃料
 カ―F 吸引管5の411、底付カ―F 制御部412、
 人力吸引制御部413、噴水制御部410 および噴水
 制御部411が装備される。

(第3回集展)
④ P.O.S. 探検隊展
売上げ製品を豊富に展示する展覧の、小売店 P.O.S.
について第5に、カーブを他の施設を相互に
する。

このカーブは、カーブの

以下、各図面を用いて本発明の実施例を説明する。

[illegible][illegible]

521 および売上集計プログラム523を主要機能として
持ち、これらの読み書きを制御するカーネル機能
522と売上集計プログラム制御部524、POSレジ
スタ制御部525、販売履歴部526、および商品制御部
527から構成される。

なお、売上集計774円及び、国庫免額行番号531ごとに、件数合計532、金額合計533を集計精算し、かつ、組合計534を精算する。

(3) 媒体カー・Fの盗本風情 (第五回参照)
銀行から預金書に対して手交される却取状通
紙様式カー・Fの書留取付票には、このカー・Fが携
する銀行振替・預金口座番号・預金者名からか
ね盗取したカー・F購置手帳とのカー・Fが
解されている。

特殊な一、を適用するためにはまず、労働者を正しく管理した後、競争を許して労働者への利益を確保する必要がある。労働者を人権として尊重し、利益にする。全ての労働者はここから始まる。

(7)

特開平3-92966 (5)

カーF内の金額を印刷したい時、振替依頼カーFにしてから振替キーを押すと、現在の残高が表示部に表示される。

また、振替キーを押した時と、最近時の取引の日付が表示され、さらに振替キーを押すとその金額が表示される。さらに振替キーを押し続けることにより、過去の取引の日付と金額が個人別として順次表示される。これは、立替簿の資料として十分利用である。

振替依頼カーFは、POSレシオやATM振置に個人されている間は、そのまま振置サービスの状態を保持するが、POSレシオやATM振置から放出された後は、オートダイヤル機能で一定時間経過後は電源オフの状態になる。また、電源オフ状態の時、さらに電源キーを押せば、電源オフの状態になる。

図5はカーFへの金額情報 (第7図参照) 自動取引請求装置で、カーF内残高を現金口座から補充するには、振替依頼カーFを、ATM振

置所定の入力操作をして押入すれば、カーF内金額が補充される。同時に、表示部にその金額が表示され、レシオの代わりになる。

ATM振置は、取引履歴キーによる金額情報の指示入力およびカーF押入を依頼すると、カーF内から取引番号、口座番号を順次取り、その正否を確認したのち、口座振替番号および金額の入力を持つ。これら所定の入力操作を受けたATM振置は、入力された金額をカーFに送出する。カーFはこの金額を振置に合算して新残高を計算しこれをATMに送出する。ATMは、これら全てのデータ(取引番号、口座番号、口座振替番号、入金金額、カーF内残高)をまとめて銀行セクタ一装置に送信する。

銀行セクタ一装置は、振置元振ワイルより当該振置元振を抽出し、所定番号を確認し残高を更新して元振ワイルに書きもどし、未決済現金ワイルに入力金額を合算更新し、振替履歴ログワイルにカーF内残高を書き込み、これらすべての処理を終えた後、取引完了通知を自動取引機

求装置に送信する。

自動取引請求装置はこれを受信すると、カーFに取引完了指示を送出、カーFは新残高を書き込み、取引記録を作成し、補充金額を表示部に表示し、すべての操作が終わる。ATM振置は、カーFの操作が完了したことを確認して、カーFを放出する。

ここで、口座振替番号の不具合、元振置高の不足など例外ケースには、それぞれ対応処理が行われる。

また、カーF内に金銭の残高があり、現金口座に入金する場合は、口座振替番号入力およびその残高の部分で若干誤りがあるが、誤りの確率が定になる以外、基本的に補充入金のばら

いと変わらない。

図6はカーFによる買物 (第8図参照) 買物をするさい、店舗状態のカーFを小売店POS請求装置に押入すると、買物金額合計がカーF内から算出される。POS請求装置から放出さ

れたカーFの表示部には、算出された買物金額が表示されており、別途受け取った買物レシオとの両方資料として利用である。

POS請求装置の、カーF読み書き部は、放出状態のカーFの押入を依頼すると、カーFから取引番号を読み取って待機する。POSレシオは、買物金額合計読み書き部を押し、カーF読み書き部をカーF読み書き部に送出する。カーFは新残高を書き込み、取引記録を作成し、引き込み金額を表示部に表示し、カーF内処理が終わる。

カーF読み書き部は、売上振替ワイルに各取引に金額を合算し、POSレシオは、取引完了通知を出して、カーFを放出する。完了通知を受けたPOSレシオは、レシオ計帳、レシートを放出する。

図7は小売店売上げの銀行への入金 (第9図参照) 小売店は一日の営業を終えるとPOS請求装置の作業を行う。作業入力によってカーF読み書き

部は売上振替ワイルを固定し、符号化によって送信電文を作成し、あらかじめPOS請求装置ごとに決められた指定銀行セクタ一に送信する。

銀行セクタ一は、受信した電文を解釈し、自分分買金ワイルから引き取り、小売店現金口座に入金処理する。他行分は、交換決済処理を通してそれぞれの銀行に請求し、それぞれの銀行の未決済買金ワイルの引き取りが完了した事を確認して小売店現金口座に入金処理する。これで、すべての決済が完了する。

図8はカーF依頼時の情報の方法。

現金は損失しない限りいつでも使えるが、この状態カーFは依頼すると振置がけらうと聞かろうと使用不能になる。銀行に出来ない新しい正常カーFと交換してもらうが、依頼カーFの振置が取り不可能の場合、銀行に出入り明細管理をしていないシステムで、補償金額をいかにして償還し、かつ現金者の保持を得るのか。

(8)

特開平3-92966 (9)

まず、銀行セクタ一では、振替履歴ワイルから当該カーFの最近の取引時点のカーF振置を算出する。これは当該振置履歴である。

さらに、別算設計の手段によって、当該カーFの買物履歴(金額の減り)の算出を分析して、最近の取引時点から日数によって現在の振置を算出して、買付振置高を算出する。大規模店の出所で、朝の買付振置高を算出するが、朝の真正振置に近づくと、買付振置高が買付振置ワイルから正しい出し、さらに現金者が買付振置ワイルの振置分は、(振替履歴ワイルの振置履歴の中で)振置を算出して、新カーF振置を算出して算出する。この算出は、通常銀行から見ただけで多量と成らうが、振置などで振置しておけばよい。

図9 以下、電子財布取引の各装置の動作を説明する。

但し、電子財布の処理を行う際のキヤッシュレジスタ1として、多機能ICカーF21を使用し、請求端末4としてPOS請求装置61を使用し、読み書き請求装置2として自動取引請求装置3を使用して行うものとする。

①キヤッシュレジスタ1の動作説明 (第10図参照)

まず、電子財布取引を行うための準備は、正否の取引条件によって正否に受け取れた多機能ICカーF21に買い物履歴のための金額情報を書き込む必要がある。この金額情報は請求とキヤッシュレジスタ1としての多機能ICカーF振置ととの間で定められた振置履歴内で正否に規定される金額である。

この金額情報は多機能ICカーF21の金額情報記憶部212に記憶する必要がある。つまり、多機能ICカーF21の金額情報記憶部212内

にこの位の面積があるかを把握すれば、この位の金額を補充する必要がある。例え補充処理を行うことが出来る。

そのためには図10図面に示すように、振置は多機能ICカーF21の入力キー216を使用して多機能ICカーF自体の電源を投入する。多機能ICカーF21は電源が投入されると、スタート611のカーFチップ状態設定により、表示部215に、例えば数字0を表示してカーFチップ状態を表示する。この時、既にカーFが使用不能状態となっている場合は、カーF使用不能状態指示フラグ7612により検出されて、カーF使用不能状態指示フラグ7612にて、カーF表示部215に例えば記号中にX記号を表示して、既にカーF使用不能であることを知らせ、終了処理フラグ7612により多機能ICカーF21の電源をオフとする。カーF使用不能状態でない場合は、多機能ICカーF自体に予め設定されている所定値に設定されている補償番号によるカーF使用の正否チェックを行うことになる。この補償

(9)

特開平3-92966 (7)

番号は、調査がカーブ使用上の制度改を考慮して
既知とすることも選択可能であり、設定はカー
ブ走行にされることも選択可とする。増減率の算出方
法を照准値割入ステップ6.13で抽出した場合に
は、調査による隔った増減率入力を入念のため
の確認を一致かウツ切取化ステップ6.14で
確認入力にもなる増減入力持ち戻りステップ6.
15で調査による増減入力持ち戻りとなる。調査
が入力する2.10によって増減率を入力するとさ
る増減率入力材料ステップ6.16によって入力を
抽出し、設定された増減番号により一致割合を
ステップ6.17より判定されて、不一致の場合は
既不一致の入力カーブをステップ増加させてい

かどろわをスナツブ619により測定し、また同様に得られた結果を第215に附録表に示すと、例えは数字表中に之を明示して簡単に通知し、附録表の関人力をスナツブ619にて決つ、再度附録表の関人力をスナツブ619により調整する一代が材料である、スナツブ620でかどろわ使用不調整である

たは貨物となり、関税はカーフ単体の価値として課せられた。このカーフ内積貨倉より出入り明細帳を提出したうえで、荷役の買ひ物をしたり、白粉船引泊場を建てるか、カーフ内の金銀の補充や、カーフから貨物口近への渡し入倉庫が設けられることになる。多量に出すべく、常盤主一人力か、顧客一人力か、自給増取引業者との通商か、買ひ物の取扱増減との連絡かを、それぞれスチアツ634、阿635、阿636、阿637にて規定する。カーフ634で改修になったと一室特別設置すると、チャムナー特定スチアツ638にて抽出し、終了する。カーフの改造をオン・オフするのはカーフの人カーク116にて規定されている電報カードにより行う。電報カードを消化して処理をしたと電報カードを行わないで放置しておく、カーフのパナツ1214が前目的に所結することになる。これを修正する目的で電報車のオートパワープラントと同時にチャムナー材料車スチアツ635により決定の時間短縮がなるとも何らかんかゝ通知が抽出

[illegible]

顧客により入力された電話番号が多数候補（１０～１５）内に照合された時電話番号と一致すると、第 0 段階に示すようにナンバーディスプレイ装置表示ラテ 6331 でカーブ表示部 215 に、前入込電話番号を表示して顧客にカーブが使用可能状態であることを通知する。カーブはこれにより活性化

多機組1からF21への全機補充を行う場合は、自動吸引補充装置とケーブルが併入された時点で自動吸引補充装置と連動することをお示しF6736により抽出し、自動吸引補充装置1からの補充機組217に抽出し、自動吸引補充装置との値を関与する。

多機組1からF21では、まずケーブル内ケーブル記号213に抽出されているケーブルと飛行号とを相互対応し、自動吸引補充装置2に通知する。関与は、全機組を多機組1CへのF21の全機組補充装置213に補充機組を戻す、自動吸引補充装置と関与して顧客の戻りから引き出して補充するとと補充金額を人力する。それを受け多機組1からF21は、全機組補充機組持ちながらF6712にて自動吸引補充装置2からの全機組補充の受信処理をする。引込F6713にて全機組補充装置2からの補充機組2と、自動吸引補充装置2からの補充機組2とを自動的に交換するようになるようにしている。

全圖上
 ア 0 1
 北緯度
 2 1 2
 ナ 0 ナ
 緯度を
 北緯部
 により
 定する
 流は入
 る。ナ
 全圖上
 2 1 0 度
 ナ 7 0 ナ
 から南
 1 1 - 1
 度。

2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526

66にて
 カーブ内
 が大きい
 668に
 であるこ
 題を承え
 持つ。
 カーブ内
 原し入金
 で関係す
 なる。そ
 ャ76.7
 の関係は
 た新関係
 ログ77
 へ通知す
 にて原し
 入金金額
 つ66の数
 算示部を

[illegible]

④ 既得利益が持つと、増資金額が表示
19で表示図215に増資金額が表示

預し入金額と金領簿記載額212.0の
 差を認むる。預し入金の金額はウ
 0.81は、因資不足と判定され、スチ
 ャー引当引付未調整2ヘカー四角ノ
 差を認むる。その後、カーブ四角ノ
 差を認むる。スチヤー63.1に判別を致し、次の入力を
 実行し、預し入金の金額より多い場合は、
 減算スチヤー68.7
 より預し入金の金額がチが減算さ
 る。増資増額と同じ増減増額更新ス
 チヤー増額を移し、金額増減増額212
 差を更新する処理をする。減額され
 チヤー68.7されるべく増減増額増額
 へ対応されるべく増減増額増額増額
 として取引明細帳記載チヤー67.8
 の金額と取引日付を相対するとして預
 金差額215.2、増減増額チヤー増額
 増額で表示する。金領簿より、増減増
 額より預し入金をもたかを減算する

引の戦ひ、自衛隊軍用文庫等に多量の
P.21内紙の複製を授け受了したことを
送信スラフの報告で行ひ、又、また
チイタチーの複製をチフス、チ
一、10の複製を一抽出スラフの
面チから複製を授けず、圖書は自衛取
題チから抽出されたチの複製を授け
出である。

[illegible]

る。その後、借款銀行の代表團への招待
80にて東京派兵を要請し、スチア
ンは軍の電報キー一人力持て、まだタイ
ムを失なうたところ所長が「四ノ一で」の
電報からの指示をまづ、このように言
ふまで待つ間があることとなり、自衛
隊との取引関係結果を報告する指示を
受けて電話をつらしたことがある。さら
に、電報キーとして電話機に所長と
話せることができたとになり、パンチリ
スを除き、且つ、其金額は150万表示
の目から随分、アラバターの保護に
よつてある。

電報キーとしての関係や、過去の買ひ物
にあるいは、キーでの金銀補充か
ある口へ買ひ入れたい日付と金額の指
令、多量増上キーで「1」の金額の指
令に設備を代えていく装置、および、放

(11)

特開平3-92966 (9)

人力の100%の割合でして、手と杖との結合した杖担が、現代化されたため、肩掛け一歩出しスチーブ636
 によりこれを解消したとされている。この割合が
 100%となる杖担距離は、多摩川10kmの1のみ
 で行なう1歩杖担距離となる。第10図に示す
 ように、肩掛け一歩出し2歩の杖担距離を出
 しスチーブ636にて手と杖との金鎖部を連結し
 て1歩の杖担を解消し出し、肩掛けスチーブ632
 を用いて肩掛けした1歩にスチーブ636を表示する。
 肩掛けを肩出し肩掛け、スチーブ636で次の4歩
 人力を持つ。肩掛けが杖担を肩出し肩掛けの一歩
 をスチーブ636で解消し、ある程度で杖担を一歩と
 してスチーブ636で解消した。杖担2歩となり終了する
 杖担2歩の割合が肩掛け、肩掛け2歩となり終了する

即ち各所属者表示状態のカーブに引き続く雇用カーブを入力すると、雇用カーブ入力後出スチャートもろで抽出されて、取引明細記録簿の日付データを記録された日付の付録も最近のものから一つ読み

フィリピン駐米領事館に於いては、この問題を解決するに必要となる一手段を維持することである。そして、必要に応じてカーブ内に金融状況を維持するが、預金口座に現金を入金をすることを許すのである。また、銀行預金を維持することによって、いくらかの現金を維持したか、金融増殖をしたか、既に入金したのかを知ることである。また、その中で預金を一たより預金を維持することである。故に、フィリピン駐米領事館に於いて、次のようなことをすることである。

同表の①を照應①Cカーブに1による高い傾度を与える場合は、カーブが、仮題にした後、買い断をする小売店のカーブ横断線であるPO3項を照應①にカーブを挿入する。カーブは、照應①のカーブ線が番地番521に挿入し、カーブ

出して表示スナツテ、657により表示部を1日に付着物を表示する。日付付着表示の中へ人力を一人力持ちスナツテ、658にて次の中心へ人力を持つ、顧客が取替ればスナツテ659にてリキヤセバが抽出され、抽出は終了となるが、引き続き組合へ入人力すとの組合へ一抽出スナツテ660で人力が抽出される、取引日付の金額情報がある引当記憶部より取り出れるものがスナツテ661で一併抽出される、その金額情報は表示スナツテ662にて表示部を1.5倍、割入は金額表示なら663に記号付けるの数字が表示される。カーソルは組合スナツテ664の組合へ入人力後スナツテ665から金額情報スナツテ666まで組合へ入力を抽出し続けられる取引日付と取引情報を交互に顧客に表示する、取引情報を全て抽出し終わらば、また外側取引情報を表示し、入人力を一入力毎々一抽出スナツテ667により顧客一人入力の数を抽出して整理するとして、終了スナツテ668にて顧客を数して終了する、終了スナツテ669にて0への抽出スナツテ664に戻るから一フル

図 17 により相互に補強を行うことが出来る。

[illegible][illegible]

次に全固形物を γ -ブタノールで洗い、抽出液を蒸発除去し、15に還元する。多量のカハチニは γ -ブタノールを用いたまま、P.O.S.溶液で処理完了後、 γ -ブタノールで洗い、抽出液の減圧を濃縮する。残物はP.O.S.溶液よりさらに洗浄除去し、抽出液を γ -ブタノールで洗い、抽出液の減圧により残余カハチニを除去し、濃縮する。

の発行から「内金照会書」を銀行預金口座に宛し入
れ、銀行に送附するに使用する。

以下、圖1を用いて操作を説明する。

町民は、多額給付金（「F21」の金額を「F24」
に設定し、正当なカード照会番号を入力し、カー
ド・代金を提供すると、自動取引機が「F21」の
金額を照会し、自動給付金を支払する。このとき、自動給
付機は「F21」の金額に対して、取引額を「F24」
に設定し、銀行に「F21」の金額を照会する。この
とき、銀行は「F21」の金額を照会し、自動給付
機に「F21」の金額を照会する。このとき、自動
給付機は「F21」の金額を照会し、銀行に「F21」
の金額を照会する。このとき、銀行は「F21」
の金額を照会し、自動給付機に「F21」の金額
を照会する。このとき、自動給付機は「F21」
の金額を照会し、銀行に「F21」の金額を照会
する。このとき、銀行は「F21」の金額を照会
し、自動給付機に「F21」の金額を照会する。

(12)

18 平 3-9296i (10)

一方、カーFの製造販売スチーマー640により、物価値に対して購買不足が材料すると、スチーマー645にてカーFの購買不足であることをPOC諸国に通知する。この情報を受取ったPOC諸国はPOC諸国向けにこの状態を通知し、買付取引を取り止めるか、カーFでの支払い金額を変更するか、他の取引方法にするかの判断をし、機動的な買付政策の運用中である。

これらの問題を解決すると、多額融資カーポートは次の人力割り込み貸出待ちスチアボーズへ制度を移し、カー人力、または、増築装置から受渡を貸出するまで待つ。この間、一定時間となる貸出もされないと、スチアボーズが予定スチアボーズでカーポートを貸出し待たされる。

財政取引増大政策の估計図表 (第7図)

[illegible]

(14)

特開平3-92966 (12)

キーワードと検索条件をキーワード813に設定し、キーワードの正確性を判定するキーワード814を行い、正確ではないと判定したと、同様にキーワード815にてキーワード814に検索条件をPOSレベリングの値1へ変更し、そのキーワード816にて抽出し検索条件をキーワード817に正確であると判定すると、POSレベリング値2と判定されると、POSレベリング値3のキーワード818にてキーワード817の入力キーワードと一致するキーワード819に抽出する。このことから、正確なキーワードによる真偽判定は実行可能となる。

入れた通知の受取先として、サブプライムに付随する、と、POSレジスタの間の買付金額を貸し入れサブプライムに付随する、この時に、買付金額と同時に買付銀行の引付をPOSレジスタの間に、この買付金額と引付プライムを多額に、カーブへカーブに送るサブプライムにより送る。カーブの送付待ちサブプライムにより、カーブ内の買付金額完了を待つ。カーブの送付決定

は取壊来設置の保守用カープであることがカープ
種類判定スチアプ824にて検出されると、保守

[illegible]

があれば、一つの売上算計ツライルとして合算し

施すことを行う。セツパ装置への選別は、選別装置を使用して選別セツパ装置へセツパ装置を通過の装置のもとに行われるか、POSパスタ装置1が選別されている順のセツパ装置への中選別システム主導の装置のもとに行われる。セツパ装置あるいは、中選別システムへの選別内容は、セツパ装置との間で予め取り決められた方法で集中化を

(17)

特開平3-92966 (15)

品要は価値が引き落とされないと言つた状態を究極に
はなすことができ、カーブの価値性を向上する
従つて、真価値性のカートにより、眞作を消滅
化したキ・ア・ツェルを造像することが可能と
あるものである。

1 はキヤパシエス試験、2 は自動取引機入帳試験、3 はセンプク検定、4 は取引引継表検定、1-1 は記帳手帳、1-2 は領算手帳、2-1 は貯蓄簿8手帳、3-1 は預金元帳7手帳、3-2 は未決勘括金7手帳、3-3 は預金元帳7手帳、3-4 は貸出帳及口9手帳、4-1 は取次手帳、4-2 は通計7手帳、4-4 は1日のヌカである。

4. 同様の問題の既知

图 1 图 2 取模取因

図2図はキャッシュレス案件の実例、

第3圖は運行セクタ設置の實地例、

第4図は自動取引場未設置の実施所

第5圖はPO3噴火口の實地引、

第6図は1Cカードの基本処理フロー、

第7図は、カーへの金額補助フロー、

図8はカーブによる買物の処理フロー、

第9図は小売店売上を銀行に入金する処理の

第10図は例～10はICカードの処理フロー

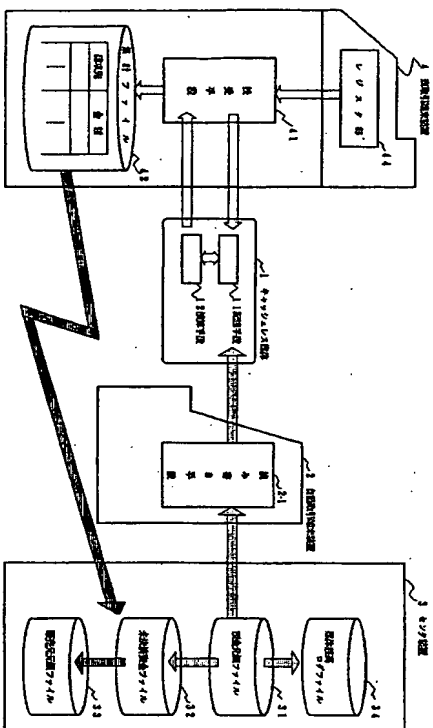
第11図は自動取引機來貨取の処理フロー、

第12図は読取請求履歴の処理フロー、

第一、國情と内政をシテ政策の處理ヲロー、

代理人 井 栢 貞 一

图 1 因式分解流程图



(18)

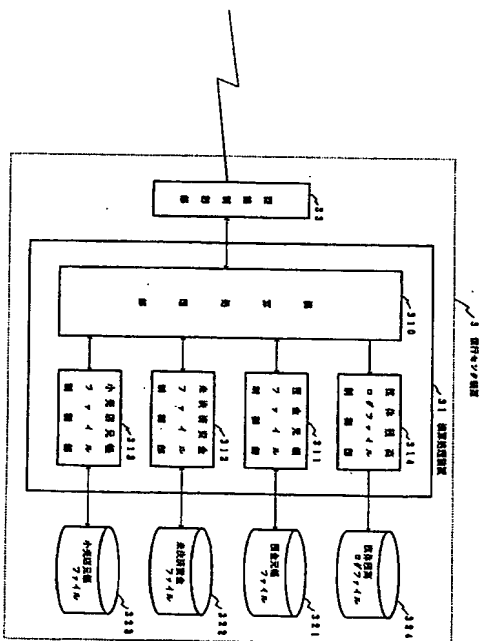
特開平3-92966 (18)

[illegible]

(iii) 多岐分岐 I Cカーブ外側区画

(b) 多相性 I C カード プロジェクト

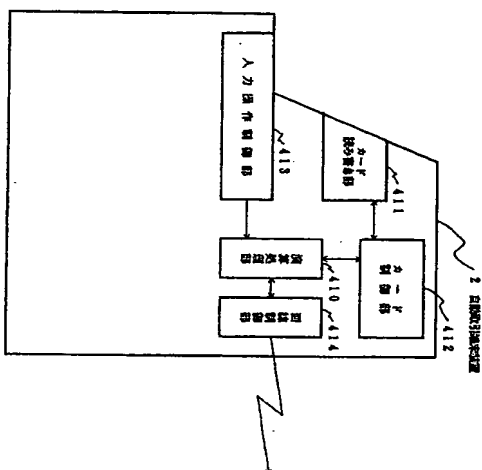
第2図 キヤンシュムレス媒体の実施例



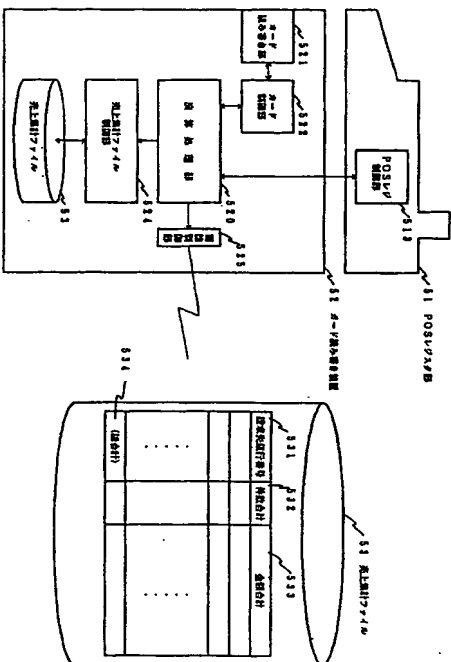
第 三 回 西 京 行 々 々 西 京 行 々 々

(19)

特開平3-92966 (17)



第4図 自動取引端末装置の構成例

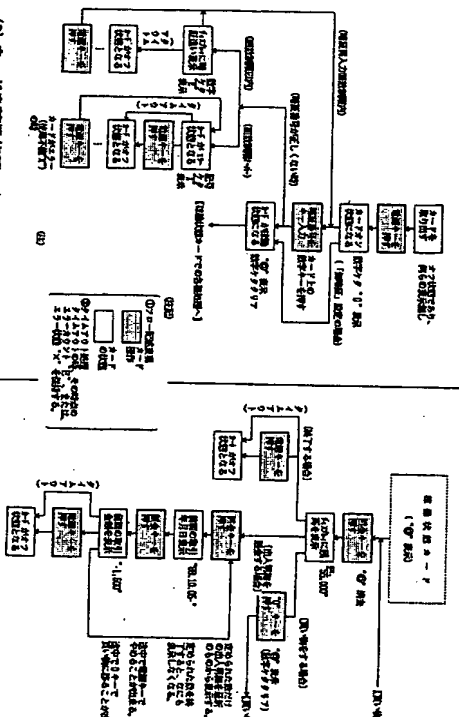


(a) POSレジスタ

第5図 POS端末装置の構成例

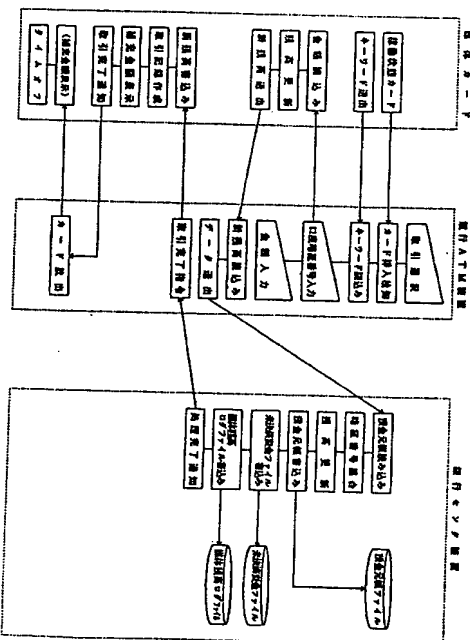
(20)

特開平3-92966 (18)



(a) カートシステムの大體に於ける基本プログラム

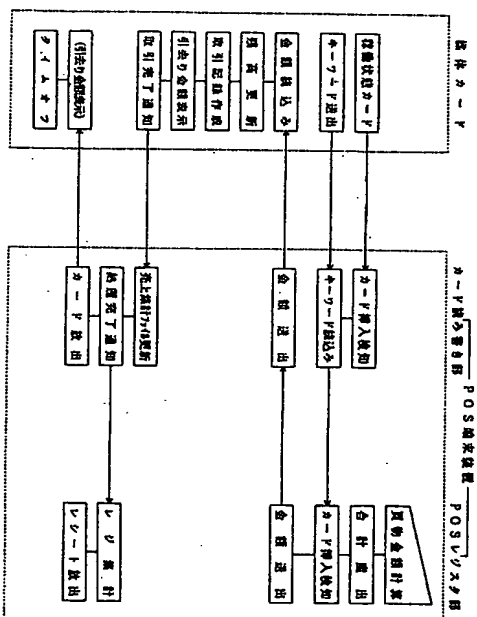
第6図 ICカードの基本処理フロー



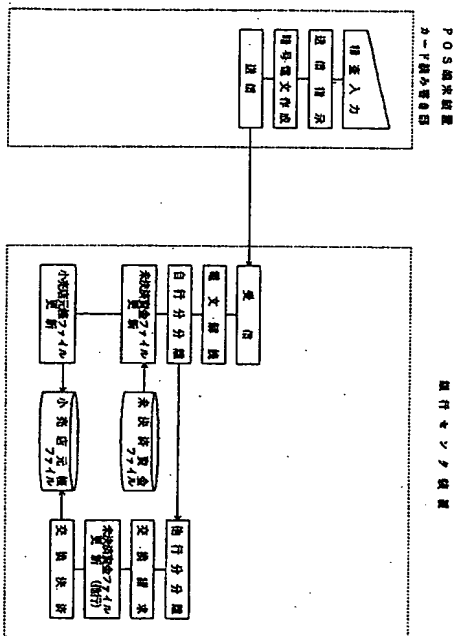
第7図 カートシステムの処理フロー

(21)

特開平3-92366 (19)



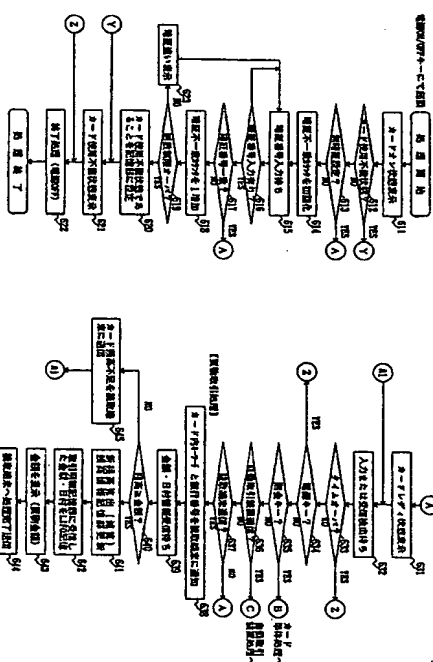
第8図 カートによる買物の処理フロー



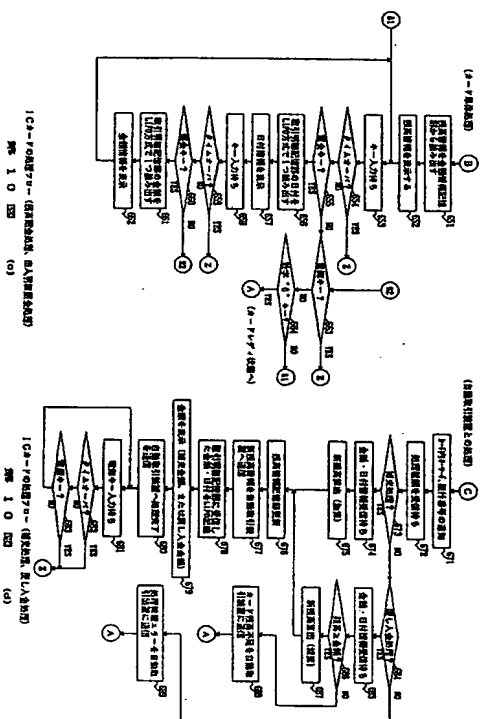
第9図 小売店売上を銀行に入金する処理フロー

(22)

特開平3-92366 (20)



10(a)-POS端末装置 (POS端末装置、POS端末装置)
第10図 (a)



10(b)-POS端末装置 (POS端末装置、POS端末装置)
第10図 (b)

(24)

11 附平3-92966 (22)

